

③ 市指定等

ア 有形文化財

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
熊野権現縁起絵巻	大分市 歴史資料館	熊野神社	昭49. 1. 9	松平忠直の遺品 全13巻（熊野神社）	江戸時代
神庫	寒田	西寒多神社	〃	校倉造 応永15年（1408） 明治19年改修（西寒多神社境内）	室町時代
鳥居	王子北町	王子神社	〃	寛政8年（1796）2月建立（王子神社境内）	江戸時代
刀（大・小）	府内町	個人所有	〃	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm、脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
刀	大分市 歴史資料館	大分市	〃	表銘豊府家士神弧丸盛利行年七十才作 裏銘天保九年戊戌二月■日任望角幸安鍛 天保9年（1838）	江戸時代
円寿寺相伝文書及び 大友資料	上野丘	円寿寺	昭51. 8. 24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉時代～室町時代
大般若経本附納函	大分県立 先哲史料館	〃	〃	寛正4年（1463）寄進 平成28年3月15日先哲史料館へ寄託	室町時代
御城下絵図	大分市 歴史資料館	大分市	昭56. 8. 1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物 に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いた もの	江戸時代
十一面観音立像	国分	国分寺	〃	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金池	万寿寺	〃	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
波奈之丸屏風	大分市 歴史資料館	個人所有	平 2. 7. 16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	劔八幡社	平 3. 3. 27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三佐	野坂神社	〃	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	〃
府内藩校遊焉館絵図	大分市 歴史資料館	弥栄神社	平 6. 2. 28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平11. 3. 23	酒造過程のわかる木造建築物	江戸時代以降
刀	森町	個人所有	〃	銘文表豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏明暦元年九月吉日（1655）	江戸時代初期
刀	永興	〃	〃	銘文表長谷部國重 相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来坐像	太田	〃	平17. 3. 31	桧材 寄木造 像高68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵良	西福寺	〃	桧材 寄木造 像高65cm	江戸時代前半
木造薬師三尊立像	本町	福城寺	〃	桧材 一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今市	安楽寺	〃	銅製の像 像高26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半

丸山神社楼門	〃	丸山神社	〃	享保5年(1720)入母屋造。3回修理。	江戸時代
木造地藏菩薩立像	本神崎	八幡神社	〃	像高96.8cm、台高36.5cm、材質檜、寄木造、玉眼入りで彩色が施されている。「愛宕地藏」とも呼ばれる。	江戸時代初期
大平文書	大分市 歴史資料館	個人所有	〃	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二大別される。	江戸時代～明治時代
若林文書・系図	大分県立 先哲史料館	〃	〃	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐賀関	早吸日女神社	平17. 9. 27	寛永17年(1640)6月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	〃	〃	〃	文政10年(1827)以降、元の半分の規模で現在地に移築大正4年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	〃	〃	〃	宝暦13年(1763)6月細川重賢建立 嘉永3年(1850)改修 入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
熊本藩船佐賀関入港船絵馬	〃	〃	〃	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、描写法や画材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西谷橋	大平	大分市	〃	文政7年(1824)甲申3月臼杵大野の石工、新左工門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵 良	西福寺	平17. 3. 31	宝篋印陀羅尼經を納めた供養塔 総高258.5cm	室町時代
福城寺逆修石幢	本 町	福城寺	〃	大永6年(1526)の銘	戦国時代
福城寺宝塔	本 町	〃	〃	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入蔵	個人所有	〃	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺石幢	摺	〃	〃	総高226cm 八角形	戦国時代
原村石幢	原村	〃	〃	安山岩製 総高269cm	室町時代後半
地福寺宝塔	福宗	地福寺	〃	2基並立 向かって右184cm、左176cm	室町時代中期
地福寺石幢	〃	〃	〃	明和8年(1771)の銘 凝灰岩製	江戸時代中期
永富家逆修碑	新 町	個人所有	〃	生前に供養する供養石塔 慶長5年(1600)の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乘妙典一字一石塔	竹矢	〃	〃	総高215cm 享保12年(1727)の銘	江戸時代
靈山寺山門	岡川	靈山寺	平19. 8. 12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。	〃
常楽寺文書	〃	常楽寺	〃	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富。少式頼尚施行状写・毛利輝元書状写・政治状況	中世・近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	〃	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝 六字名号は蓮如真筆	室町・江戸時代
水分神社銅鉾	横尾	水分神社	平20. 12. 4	完形品と残欠2個 精巧な鑄上がりで埋納されていた 北部九州で鑄造	弥生時代中期末～ 弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土石戈	大分市 歴史資料館	個人所有	〃	細型で遠賀川流域で製作された可能性 平30. 12. 7 名称変更	弥生時代中期

勝光寺華南三彩貼花文五耳壺	大分市 歴史資料館	勝光寺	平21. 12. 16	深い光沢のある緑色を基調とした優品。中世大友時代のアジア外交ネットワークの側面を物語る。	安土桃山時代
大分市内出土青銅破鏡	大分市歴史資料館 大分県立埋蔵文化財センター	大分県 大分市	〃	すべて漢鏡。市内における弥生文化や弥生社会の様相を考える上で重要な資料。	弥生時代後期 ～後期終末
原田家宝篋印塔	福宗	個人所有	平22. 12. 17	四方仏の浮き彫り。 安山岩製	室町時代前半 ～中頃
大分市内出土 青銅器	大分市 歴史資料館	大分市	〃	青銅製ヤリガンナと小銅鐸。弥生時代の北部九州との交流を示す資料。ヤリガンナは、県内唯一の出土。	ヤリガンナ：弥生時代中期前葉 小銅鐸：弥生時代後期終末
「天長九年尼寺」・ 「尼寺」墨書土器	〃	〃	平23. 12. 19	文字が書かれた土器3点。国分寺に推定される「尼寺」の存在を裏付ける。また、年号が土器に記されている。	平安時代 (9世紀前半)
伝名辺山谷出土銅矛	〃	〃	平26. 3. 11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたと思われる中広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	永興	臨済寺	平27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて、大坂の宮内法橋の手による作と考えられる。	江戸時代中期
松栄神社所蔵絵図	大分市 歴史資料館	松栄神社	平27. 12. 25	府内城の櫓など府内藩の施設の姿や平面図、寺社、府内藩領域図など1冊・22点。	江戸時代後期
合澤家所蔵文書	中島	個人所有	〃	佐賀関地区の一尺屋を本拠地としていた戦国時代の武家、若林家に伝来した近世・近代文書。中世大友氏の家臣のその後の歴史を検証する資料である。計14点。	江戸時代～明治時代
立小野区有文書	大分市 歴史資料館	立小野区	平29. 3. 9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接する村々との境界紛争を中心とし、「傘連判状」が残されている。	江戸時代～昭和時代
木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	〃	桧材寄木造で、単純な衣文、ふくよかな童顔をしており、15世紀の作と考えられ、全国的に造像が少ない。	室町時代
大分市出土同範銅戈	大分市 歴史資料館	大分市 住吉神社	平30. 12. 7	細形銅戈で、「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大在の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鋳型より製作された同範銅戈。	弥生時代中期
紙本著色徳生範公像	田室町	長福寺	令元. 12. 6	座主が豊後国黄檗宗の重要寺院であった長福寺の開基であることから、歴史的に貴重。	江戸時代
少林寺板碑	木上	少林寺	〃	銘文より貞和6年（1350）という造立年代、造立の経緯が明らかであり、歴史的に貴重。	南北朝時代
合澤家旧蔵中世文書	大分市 歴史資料館	大分市	令 5. 3. 7	佐賀関地区の一尺屋を本拠地としていた戦国時代の武家、若林家に伝来した中世文書。各地での海戦などの活動実態を記録した文書である。計36点。	室町時代

イ 史跡

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭49. 1. 9	五輪塔 高さ176cm 大友氏三代	江戸時代
丹生遺跡	丹生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平 7. 2. 17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前 田	個人所有	平17. 3. 31	材質すべて角閃石安山岩 完形41基	戦国時代～ 江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	〃	地藏尊「火防（ひぶせ）の地藏さま」と呼ばれる。	安土桃山時代末期 ～江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期
中ノ原古墳	本神崎	〃	令 3. 12. 30	円墳 横穴式石室	古墳時代後期

ウ 天然記念物

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
オオイタサンショウウオ及び生息地	岡川	霊山寺	昭49. 1. 9	希少種とされている（霊山寺境内）	
ヤマフジ	寒田	西寒多神社	〃	枝張り、東西約24m、南北約5mの範囲で広がる（西寒多神社境内）	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m、樹冠の広がり東西約33m、南北45m（八幡社境内）	
柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平 2. 9. 12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

エ 有形民俗文化財

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
鰻網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17. 9. 27	明治45年（1912）に奉納された漁撈絵馬で当時の鰻網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
漁業図大絵馬	〃	〃	〃	明治35年（1902）に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している	明治時代
帆足本家酒造用具	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で構成されている（343点） H19/2/8大分市へ寄付	江戸時代末期～ 昭和47年（1972）

オ 無形民俗文化財

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
柞原太鼓	八幡	保存会	昭54. 6. 14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	
鶴崎踊	鶴崎	保存会	〃	江戸時代中期以来発展した鶴崎踊り（左衛門・猿丸太夫）は鶴崎周辺地域にも普及している。	※国選択無形民俗文化財 ※県選択無形民俗文化財
深山流 伊与床神楽	端登	神楽社	平12. 6. 16	伊与床五柱神社神楽社	
岡倉神楽	野津原	神楽社	平18. 3. 7	岡倉神楽社。勇壮な神楽であり、活弁に活動しているまた、伝承も計画的に行われている。	明治時代～
二目川百手祭り	横尾	保存会	平25. 1. 11	毎年1月20日に開催。畳の上で的に矢を放つ儀式「的矢の儀」をよく継承している	江戸時代(天文年間)～
戸次のほうちょう作り	中戸次	保存会	平30. 12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちょう」の作り方を継承	

カ 無形文化財

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者2名	平23. 12. 19	廻栖野に伝承される在来竹細工技術。長い竹ヒゴを編み、箆類など青物（荒物）を製作する。	

キ 登録無形文化財

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	登録年月日	摘要	参考
豊後絞りの染色技術	千代町	豊後遊草会	令 6. 2. 21	木綿布の絞り染め技法のひとつで、糸で輪をつくり、J型の鉤の鉤先をかけて糸をくくり染める。廃れた豊後絞りの技法を復活したもの。	現代

ク 登録有形民俗文化財

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	登録年月日	摘要	参考
友永家所蔵一文人形資料	大分市 歴史資料館	個人所有	令 6. 2. 21	一文人形は「浜の市」の有名な玩具で、首人形の一種。未彩色の首人形11点と、首人形製作用の土型33点からなる資料。	明治時代後期～大正時代
工藤長造画「大分昔風景」	大分市 歴史資料館	大分市	令 7. 3. 27	工藤長造氏が描いた、明治～昭和の大分市街地の風景のペン画。大分市の近代の様子を伝える貴重な資料である。 102	昭和時代

ケ 登録無形民俗文化財

名称または物件	所在地		登録年月日	摘要	参考
萩原天神社夏季祭礼の人形行事	萩原		令 6. 2. 21	造り物小屋での人形披露や山車巡行などの人形を用いた祭礼。大分市東部の山車行事の古い姿を伝える。	現代

コ 無形民俗文化財（記録選択）

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	選択年月日	摘要	参考
羽田神楽	羽田	大分社	平17. 9. 27	昭和45年（1970）創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる（選択）	昭和45年～